

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学科名:エコ・コミュニケーション科(2年制) ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

授業科目名	授業時間数
ベISING演習	420
トリミング理論Ⅰ	60
トリミング理論Ⅱ	30
ドッグトレーニング演習Ⅰ	60
ドッグトレーニング演習Ⅱ	60
動物の体のしくみ	30
動物の健康管理	30
アニマルトレーニング	30
アニマルヒストリー	30
コンパニオンドッグ	30
コンパニオンキャット	30
食餌と栄養	30
ブリーディング	30
トリミング演習Ⅱ	540
犬の飼養管理	60
合計	1470 (98)

※()内は単位数

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ベISING演習 (Dog Bathing Practice)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	原田 照美
専攻名	ペットトリマー&動物看護師専攻、ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、 ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1・2時限

【授業の学習内容】

犬の基本的なお手入れ方法を実際のモデル犬を使って学び、犬種別のグルーミングを理解します。また、マネキンを使い基本的なカットやシザーワークを学びます。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスB級を取得。
JKC公認ハンドラーライセンスC級を取得。
現在はトリミングサロン ピアードール 代表。

【到達目標】

90分で基本的なグルーミングが出来るようになる。(グルーミング検定B級合格)
カットの基本からラッピング、ペットクリップが出来るようになる。

授業計画・内容

1回目	授業オリエンテーション
2回目	デモストレーション 爪、耳ブラシ
3回目	デモストレーション シャンプー、ブロー
4回目	チワワ 1頭デモ キャットフット バリカン
5回目	ウイックとき マネキン
6回目	ウイックとき 足回りテディ
7回目	チワワ (2人1頭)
8回目	マルチーズ1頭デモストレーション
9回目	ヨークシャーテリア1頭デモストレーション
10回目	中型犬 犬種説明 2人1頭
11回目	大型犬 犬種説明 3~4人1頭
12回目	小型犬 2人1頭
13回目	中型犬 犬種説明 2人1頭
14回目	大型犬 犬種説明 3~4人1頭
15回目	小型、中型、大型犬 ベISING
準備学習 時間外学習	JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)
評価方法	授業内評価 レポート提出20点 出席:10点 犬の扱い方:30点 道具の扱い方:20点 時間管理:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □	
JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ベISING演習 (Dog Bathing Practice)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	原田 照美
専攻名	ペットトリマー&動物看護師専攻、ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、 ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日1・2時限

【授業の学習内容】

犬の基本的なお手入れ方法を実際のモデル犬を使って学び、犬種別のグルーミングを理解します。また、マネキンを使い基本的なカットやシザーワークを学びます。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスB級を取得。
JKC公認ハンドラーライセンスC級を取得。
現在はトリミングサロン ピアドール 代表。

【到達目標】

90分で基本的なグルーミングが出来るようになる。(グルーミング検定B級合格)
カットの基本からラッピング、ペットクリップが出来るようになる。

授業計画・内容

1回目	ポメラメにアン1頭デモンストレーション
2回目	プードル ラムクリップ
3回目	プードル ラムクリップ
4回目	プードル ラムクリップ
5回目	プードル ラムクリップ
6回目	プードル ラムクリップ
7回目	プードル ラムクリップ
8回目	プードル ラムクリップ
9回目	プードル ラムクリップ
10回目	プードル ラムクリップ
11回目	シュナウザー 2人1頭
12回目	プードル ラムクリップ
13回目	プードル ラムクリップ
14回目	プードル ラムクリップ
15回目	プードル ラムクリップ
準備学習 時間外学習	JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)
評価方法	授業内評価 レポート提出20点 出席:10点 犬の扱い方:30点 道具の扱い方:20点 時間管理:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □	
JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ベISING演習 (Dog Bathing Practice)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	原田 照美
専攻名	ペットトリマー&動物看護師専攻、ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、 ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1・2時限

【授業の学習内容】

犬の基本的なお手入れ方法を実際のモデル犬を使って学び、犬種別のグルーミングを理解します。また、マネキンを使い基本的なカットやシザーワークを学びます。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスB級を取得。
JKC公認ハンドラーライセンスC級を取得。
現在はトリミングサロン ピアードール 代表。

【到達目標】

90分で基本的なグルーミングが出来るようになる。(グルーミング検定B級合格)
カットの基本からラッピング、ペットクリップが出来るようになる。

授業計画・内容

1回目	授業オリエンテーション
2回目	プードル 爪、耳、ブラッシング
3回目	プードル シャンプー、ブロー
4回目	チワワ2人1頭
5回目	ウィック テッピング半分カット
6回目	マネキン 足回りカット
7回目	ダックス 2人1頭
8回目	マルチーズ 2人1頭
9回目	ヨークシャーテリア 2人1頭
10回目	短吻犬 2人1頭
11回目	マルチーズ ヨーキー 2人1頭
12回目	マネキン解き
13回目	プードル
14回目	プードル マルチーズ ヨーキー 2人1頭
15回目	プー ラムクリップ ブロー バリカン
準備学習 時間外学習	JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)
評価方法	授業内評価 レポート提出20点 出席:10点 犬の扱い方:30点 道具の扱い方:20点 時間管理:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □	
JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ベISING演習 (Dog Bathing Practice)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	原田 照美
専攻名	ペットトリマー&動物看護師専攻、ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、 ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日1・2時限

【授業の学習内容】

犬の基本的なお手入れ方法を実際のモデル犬を使って学び、犬種別のグルーミングを理解します。また、マネキンを使い基本的なカットやシザーワークを学びます。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスB級を取得。
JKC公認ハンドラーライセンスC級を取得。
現在はトリミングサロン ピアドール 代表。

【到達目標】

90分で基本的なグルーミングが出来るようになる。(グルーミング検定B級合格)
カットの基本からラッピング、ペットクリップが出来るようになる。

授業計画・内容

1回目	ポメラメにアン (2人1頭)
2回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人1頭)
3回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人2頭)
4回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人3頭)
5回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人4頭)
6回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人5頭)
7回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人6頭)
8回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人7頭)
9回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人8頭)
10回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人9頭)
11回目	シュナウザー 2人1頭
12回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人9頭)
13回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人10頭)
14回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人11頭)
15回目	プードル マルチーズ ヨーキー ポメラニアン ブロー、カット (2人12頭)
準備学習 時間外学習	JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)
評価方法	授業内評価 レポート提出20点 出席:10点 犬の扱い方:30点 道具の扱い方:20点 時間管理:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □	
JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ベISING演習 (Dog Bathing Practice)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	笹本五月
専攻名	ペットトリマー&動物看護師専攻、ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、 ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日3・4・5時限

【授業の学習内容】

犬の基本的なお手入れ方法を実際のモデル犬を使って学び、犬種別のグルーミングを理解します。また、マネキンを使い基本的なカットやシザーワークを学びます。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスA級を取得後、熊本県内へのトリミングサロンにて勤務。

【到達目標】

90分で基本的なグルーミングが出来るようになる。(グルーミング検定B級合格)
カットの基本からラッピング、ペットクリップが出来るようになる。

授業計画・内容

1回目	自己紹介 犬の扱いについて
2回目	スタック、保定の仕方、爪切り、耳掃除、ブラッシング (2人1頭)
3回目	ベISINGまとめ (2人1頭)
4回目	ミニチュアダックスフンド、ヒゲカット、フラッグテール (2人1頭)
5回目	マネキンカット 犬体説明
6回目	ベISING 足周りカット 腹張り (2人1頭)
7回目	ブロー (2人1頭)
8回目	ラム講習
9回目	ラム講習 展開図
10回目	ラム・クリップ チッピング
11回目	ラム・クリップ チッピング
12回目	ラム・クリップ チッピング
13回目	マネキンカット
14回目	マネキンカット
15回目	マネキンカット
準備学習 時間外学習	JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)
評価方法	授業内評価 レポート提出20点 出席:10点 犬の扱い方:30点 道具の扱い方:20点 時間管理:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □	
JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ベISING演習 (Dog Bathing Practice)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	笹本五月
専攻名	ペットトリマー&動物看護師専攻、ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、 ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日3・4・5時限

【授業の学習内容】

犬の基本的なお手入れ方法を実際のモデル犬を使って学び、犬種別のグルーミングを理解します。また、マネキンを使い基本的なカットやシザーワークを学びます。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスA級を取得後、熊本県内へのトリミングサロンにて勤務。

【到達目標】

90分で基本的なグルーミングが出来るようになる。(グルーミング検定B級合格)
カットの基本からラッピング、ペットクリップが出来るようになる。

授業計画・内容

1回目	マネキン
2回目	マネキン
3回目	マネキン
4回目	マネキン
5回目	マネキン
6回目	マネキン
7回目	マネキン
8回目	サマーカット講習
9回目	ラム・クリップ (2人1頭)
10回目	テディベアカット講習 (2人1頭)
11回目	シュナウザー講習 (2人1頭)
12回目	ポメラニアカット講習 (2人1頭)
13回目	ヨークシャテリアカット講習 (2人1頭)
14回目	トイプードル (2人1頭)
15回目	トイプードル (2人1頭)
準備学習 時間外学習	JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)
評価方法	授業内評価 レポート提出20点 出席:10点 犬の扱い方:30点 道具の扱い方:20点 時間管理:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □	
JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	トリミング理論 I (Theory of Grooming I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	酒井志保
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻、 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限

【授業の学習内容】

トリミングを学ぶ上で必要な、犬体名称・骨格、皮膚被毛の基礎を学び、カットの種類から使用する道具類の知識を学ぶ。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得。
現在はビションフリーゼのブリーディングを行いサロンmarshmallowの代表

【到達目標】

トリミング演習に必要なグルーミング用語や道具について理解する。

授業計画・内容

1回目	学科説明、プリント配布
2回目	ペットドッグ、シードッグ
3回目	犬体説明、犬体書き
4回目	犬体名称
5回目	骨格
6回目	グルーミングについて
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	トリミング犬種
9回目	グルーミング用語
10回目	被毛の構造
11回目	プードルについて
12回目	メディカル
13回目	展開図、説明書き
14回目	前期評価及び前期復習①
15回目	前期復習②

準備学習
時間外学習

評価方法

授業内評価
レポート提出20点
出席:10点
犬の扱い方:30点
道具の扱い方:20点
時間管理:20点

【使用教科書・教材・参考書】 □

JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	トリミング理論 I (Theory of Grooming I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	酒井志保
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻、 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日2時限

【授業の学習内容】

トリミングを学ぶ上で必要な、犬体名称・骨格、皮膚被毛の基礎を学び、カットの種類から使用する道具類の知識を学ぶ。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得。
現在はビションフリーゼのブリーディングを行いサロンmarshmallowの代表

【到達目標】

トリミング演習に必要なグルーミング用語や道具について理解する。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	欠点良くない体つき
2回目	犬体名称 毛色
3回目	犬体名称 毛色
4回目	犬体名称 尾
5回目	犬体名称 頭部 耳鼻
6回目	犬体名称 肢勢
7回目	犬体名称 胴
8回目	showdogのトリミングの見方
9回目	犬体名称 残り
10回目	テディベアカット
11回目	シザーリング犬種
12回目	ブラッキング犬種
13回目	後期評価及び振り返り
14回目	ペットエステ 実技
15回目	ペットエステ 実技

準備学習
時間外学習

評価方法

授業内評価
ドッグショー課題提出:40点
期末試験:60点

【使用教科書・教材・参考書】 □

JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	トリミング理論Ⅱ (Theory of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	寺田 光徳
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻、 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】

1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを学び、多様なカットの技法を学びます。

※実務経験者

JKC九州ハンドラー委員会委員長。JKC福岡県連合会幹事長を務め、ドッグショーの審査及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。

【到達目標】

トリミング犬種の犬種別カットの特徴を学びます。道具の理解と犬種別の特徴を理解する。座学を中心に、犬種標準図鑑などから犬種別カットを覚えます。

授業計画・内容

1回目	犬の体の仕組み (1年の復習から)
2回目	グルーマー獣医学
3回目	トリマーの基本
4回目	スキばさみ、ナイフの解説
5回目	クリッパー、爪切り、ヤスリ等 アメリカンコッカー・シニング犬種の解説(前半)
6回目	アメリカンコッカー・シニング犬種の解説(後半)
7回目	アメリカンコッカー・スプリングー・スパニエル解説
8回目	ミニチュアシュナウザーの解説
9回目	エアデールテリアのトリミング解説
10回目	ノーフォークランドテリアの解説
11回目	スコティッシュテリア・シーリハムの解説
12回目	ウェステアの解説
13回目	前期の復習
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	ベトリントンテリアのトリミング

準備学習
時間外学習

評価方法

中間評価:40点
期末評価:60点

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットリマナー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習 I (Practice of Dog training I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	左藤 珠代
専攻名	ペットリマナー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日1時限

【授業の学習内容】

犬の訓練士として、犬が人間社会で暮らしていく為のしつけを理解し、適切な指示の出し方を学ぶことが必要。この授業ではJKCの訓練科目から正しい姿勢・リードの扱い方、人や犬の動きの基本を学び、学内飼育犬と共に実践する。

※実務経験者

社団法人ジャパンケネルクラブ(JKC)公認訓練士。犬の飼い主向けにドッグランや犬のしつけ・アジリティ教室等を運営するドッグトレーナーが授業講師として担当する。

【到達目標】

JKCの訓練科目を理解すると共に、犬を足元つけて指示を与え、その状態を維持した歩行や基本の指示出しができるようになる。

授業計画・内容

1回目	ハウス、ゲージ、サークルの設置、犬の出し入れ、リードの付け方
2回目	犬の出し入れ、基本姿勢(正しいヒールポジション)、リードの持ち方
3回目	「停座」指示の出し方、リードの使い方、停座の正しいフォームへの導き方
4回目	指示の重要性、褒めるタイミングと褒め方、犬にとっての褒美とは
5回目	「脚側停座」正しい位置と導き方及び指示、訓練用語
6回目	「脚側停座」指示(リード使い、体の動き、犬の動線)「脚側行進」指導手の歩き方
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	脚側行進、まわれ右、脚側停座、(リード使い、指導手の指示の安定)
9回目	脚側行進、まわれ右、左回り、脚側停座(リード使い、指導手の指示の安定)
10回目	同上 反復練習
11回目	同上 反復練習
12回目	同上 反復練習
13回目	同上 反復練習
14回目	リード使い、声符、体符、基本姿勢、右回り、左回り、脚側行進、脚側停座 振り返り
15回目	前期復習

準備学習
時間外学習

評価方法

中間評価(筆記):20%
授業参加度:20%
期末評価(実技):60%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習 I (Practice of Dog training I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	左藤 珠代
専攻名	ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜日1時限

【授業の学習内容】

犬の訓練士として、犬が人間社会で暮らしていく為のしつけを理解し、適切な指示の出し方を学ぶことが必要。この授業ではJKCの訓練科目から正しい姿勢・リードの扱い方、人や犬の動きの基本を学び、学内飼育犬と共に実践する。

※実務経験者

社団法人ジャパンケネルクラブ(JKC)公認訓練士。犬の飼い主向けにドッグランや犬のしつけ・アジリティ教室等を運営するドッグトレーナーが授業講師として担当する。

【到達目標】

JKCの訓練科目を理解すると共に、犬を足元つけて指示を与え、その状態を維持した歩行や基本の指示出しができるようになる。

授業計画・内容

1回目	JKC 家庭犬訓練試験初等科、実施要項説明
2回目	アイコンタクト、トリーツの使い方、トリーツの意義
3回目	「待て」指導手はどういう意識を持って犬に教えるべきか
4回目	「伏臥」誘導の仕方、姿勢のキープ
5回目	「伏臥からの停座」立止りからの停座、伏臥からの停座は異なることを指導手が意識して教える
6回目	アイコンタクトを停座、伏臥、待ての課目と組み立てる
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	「立止」犬のフォーム 姿勢のキープ
9回目	「招呼」基本は脚側停座、招呼はゴールである脚側停座の徹底である
10回目	「脚側行進」出発、停止時の脚側停座の位置を意識する
11回目	脚側行進、停座、伏臥、右回り、左回り、停座招呼、脚側停座、アイコンタクト
12回目	脚側行進、停座、伏臥、右回り、左回り、停座招呼、脚側停座、アイコンタクト
13回目	後期評価及び振り返り①
14回目	振り返り②
15回目	1年間 総復習

準備学習
時間外学習

評価方法

中間評価(筆記):20%
授業参加度:20%
期末評価(実技):60%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習Ⅱ (Practice of Dog training Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	左藤 珠代
専攻名	ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2時限

【授業の学習内容】

犬の訓練士として長く経験を積み重ねる過程では、犬の訓練試験や競技会に対応する技術を身に付ける必要がある。この授業では主に家庭犬訓練試験初等科及び中等科の訓練課目における犬の指導手としての動き方や審査についてドッグトレーナーから学び、学内飼育犬と共に実践する。

※実務経験者

社団法人ジャパンケネルクラブ(JKC)公認訓練士。犬の飼い主向けにドッグランや犬のしつけ・アジリティ教室等を運営するドッグトレーナーが授業講師として担当する。

【到達目標】

JKCにおける家庭犬訓練試験初等科・中等科(CDⅠ・CDⅡ)科目に関して、審査される側としての実施要項を意識した動作ができるようになる。
1年次に学んだ指導手としての姿勢やリードの使い方、指示のタイミング等を反復して上達させる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	犬と指導手のペア決め、1年間の目標決め
2回目	各犬のテーマ(訓練内容絞り込み)
3回目	立止の教え方(フォームの徹底、姿勢のキープ)
4回目	訓練用語(JKC・家庭犬訓練試験中等科説明)、立止(同上の反復)
5回目	脚側行進(コーナーのコツ)
6回目	脚側行進(コーナーのコツ)
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	招呼(ロングリードの使い方)
9回目	招呼(出発から脚側停座まで)
10回目	招呼(フリーからの招呼の教え方)
11回目	脚側行進、脚側停座、コーナーの処理
12回目	脚側行進、脚側停座、コーナーの処理
13回目	前期評価及び振り返り
14回目	コマンド、リード、犬の誘導(実技)復習
15回目	前期総復習

準備学習
時間外学習

評価方法

中間評価(筆記):20%
授業参加度:20%
期末評価(実技):60%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習Ⅱ (Practice of Dog training Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	左藤 珠代
専攻名	ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日2時限

【授業の学習内容】

犬の訓練士として長く経験を積み重ねる過程では、犬の訓練試験や競技会に対応する技術を身に付ける必要がある。この授業では主に家庭犬訓練試験初等科及び中等科の訓練課目における犬の指導手としての動き方や審査についてドッグトレーナーから学び、学内飼育犬と共に実践する。

※実務経験者

社団法人ジャパンケネルクラブ(JKC)公認訓練士。犬の飼い主向けにドッグランや犬のしつけ・アジリティ教室等を運営するドッグトレーナーが授業講師として担当する。

【到達目標】

JKCにおける家庭犬訓練試験初等科・中等科(CDⅠ・CDⅡ)科目に関して、審査される側としての実施要項を意識した動作ができるようになる。
1年次に学んだ指導手としての姿勢やリードの使い方、指示のタイミング等を反復して上達させる。

授業計画・内容

1回目	「立止」確実性アップトレーニング
2回目	ノーリードでの「停座」「伏臥」「立止」
3回目	ノーリードに向けた脚側行進、指導手の姿勢練習
4回目	ノーリードに向けた脚側行進、指導手の姿勢練習
5回目	脚側停座の位置のズレの原因と修正
6回目	何故、犬は1回目のコマンドで実行しないと、出来ないのか？
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	ノーリードでの「招呼」
9回目	ノーリードでの「招呼」
10回目	紐無し脚側行進に向けた練習
11回目	紐無し脚側行進に向けた練習
12回目	紐無し脚側行進に向けた練習
13回目	後期評価及び振り返り①
14回目	振り返り②
15回目	総復習

準備学習
時間外学習

評価方法

中間評価(筆記):20%
授業参加度:20%
期末評価(実技):60%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	動物の体のしくみ (Anatomy and Physiology of Animals)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	石飛 綾
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日3時限

【授業の学習内容】

この授業では、各臓器の正常な状態(形・位置・色・機能など)について学ぶ。体のしくみ、と聞くと、各部位の名称を覚えることが中心で、仕事で行う内容とは縁遠い印象があるかもしれないが、皆さんが現場で行うケアとは関連がある。例えば、歯の構造を学ぶことによって、歯のケアを行うときの注意点や、口内に起きやすい問題と対策方法がわかる。教科書には、その部分に多い病気についても記載があるため、正常な機能と比較をしながら解説をしていく。

【到達目標】

- ①各臓器の正常な形・位置・色・機能などを理解し、説明することができる
- ②各臓器の正常(健康)時と異常(病気)時の違いを比較し、説明することができる
- ③現場で動物の健康チェックを行う時に、異常に気づくことができる 病気の動物に対するケアに活用することができる

授業計画・内容

1回目	授業の目的・進め方、骨格系について①
2回目	骨格系について② 外皮系について①
3回目	外皮系について② 消化器系について①
4回目	消化器系について②
5回目	消化器系について③
6回目	消化器系について④
7回目	中間評価試験及び中間振り返り①
8回目	中間振り返り②
9回目	泌尿器系について①
10回目	泌尿器系について② 呼吸器系について①
11回目	呼吸器系について② 循環器系について①
12回目	循環器系について②
13回目	感覚器系について
14回目	期末評価及び期末振り返り①
15回目	期末振り返り②
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが、初めて学習する内容となる。理解できるまで時間をかけて説明していく。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単にお話するので、内容の整理に使うと効果的。専門用語に関しては、その都度解説をする。
評価方法	●中間評価試験40%●期末評価試験40%●出席及び授業態度20%の割合で評価を行う

【使用教科書・教材・参考書】 □

教科書: 滋慶教育科学研究所 イラストで見る動物の体のしくみ

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	動物の健康管理 (Healthy Management of Animals)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石飛 綾
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日3時限

【授業の学習内容】

この授業では、動物を病気にさせないための手段である予防(ワクチン・フィラリア症・寄生虫・不妊去勢手術)について学ぶ。これらは、動物病院だけで行われるような印象があるかもしれない。トリミングサロンやペットショップ、ペットホテルなどでは、多くの犬や猫が出入りし、病気にに対して抵抗力がない子犬がいることもある。犬同士で伝染するものの中には、目で確認できない大きさのものもある。危険から動物たちを守るためには、予防のしくみをしっかりと理解し、動物や環境に対して対策を行えることが重要になる。

【到達目標】

- ワクチン・フィラリア症・寄生虫・不妊去勢手術について、以下の①～③を目標とする。
- ①予防の重要性や、予防のしくみ、具体的な予防方法について、理解できる
 - ②目的①の内容について、人に説明をすることができる
 - ③現場でどのような予防対策を行えばよいかを考え、実行することができる、飼い主の方に予防について説明やアドバイスができる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の目的、進め方、ワクチン接種について①
2回目	ワクチン接種について②
3回目	ワクチン接種について③
4回目	ワクチン接種について④ フィラリア症について①
5回目	フィラリア症について②
6回目	フィラリア症について③
7回目	中間評価試験及び中間振り返り①
8回目	中間振り返り②
9回目	外部寄生虫について①
10回目	外部寄生虫について②
11回目	外部寄生虫について③ 内部寄生虫について①
12回目	内部寄生虫について②
13回目	不妊去勢手術のメリット・デメリットについて
14回目	期末評価及び期末振り返り①
15回目	期末振り返り② 応急手当(熱中症)について
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが、初めて学習する内容となる。理解できるまで時間をかけて説明していく。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単にお話するので、内容の整理に使うと効果的。専門用語に関しては、その都度解説をする。
評価方法	●中間評価試験40% ●期末評価試験40% ●出席及び授業態度20%の割合で評価を行う

【使用教科書・教材・参考書】 □

参考書①: 滋慶教育科学研究所 イラストで見る動物の飼養管理 参考書②: 小方 宗次 編 カラーアトラス 最新 くわしい犬の病気大図典 誠文堂新光社

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	アニマルトレーニング (Animal Training)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	間 美加
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻、 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットトリマー&メイク&ネイル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日2時限
<p>【授業の学習内容】 犬の心理を理解し、犬が人間に求めているものを提供できる人材になる。 犬に対して自分の影響力を知り、犬に適した身の振り方(接し方)を考えられるようになる。 座学形式での講義(必要に応じて犬を使用した実技)</p> <p>※業務経験者 犬種の特性を活かしたスポーツドッグの育成・トレーニングに長く携わり、日本フリスビー犬協会主催の大会で数多くの入賞経験を持つ講師が、授業を担当する</p> <p>【到達目標】 犬の行動心理や学習の原理原則を学び実生活と結びつけて考える。 また犬にトレーニングを提供できる人間に成長することを目的とします。</p>							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	これからの授業で意識すること。飼い主に必要とする知識とは。(予防医学)
2回目	犬社会のルールから見る犬との初対面の接し方。プロと飼い主の違いを知る。(実技)
3回目	なぜトレーニングが必要なのか？
4回目	なぜトレーニングが必要なのか？
5回目	なぜトレーニングを科学的に考えるのか？
6回目	犬を育てる為に、トレーナーが身につけること。
7回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
8回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
9回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
10回目	犬の誉め方。誉める時に必要な感情の伝え方。
11回目	歩行トレーニングの続き (実技)
12回目	歩行トレーニングの続き (実技)
13回目	犬の心を安定させる方法を知る。
14回目	歩行トレーニングの続き (実技)
15回目	前期まとめ【テスト対策】
準備学習 時間外学 習	
評価方法	中間評価:40点 期末評価:40点 提出物:10点 授業態度:10点
<p>【使用教科書・教材・参考書】 □</p> <p>プリント配布</p>	

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	アニマルヒストリー (History of Animal and Human)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	本村 直子
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日1時限

【授業の学習内容】

人と動物の関わりには民族や宗教、歴史的な背景などが大きく関わっている。この授業ではコンパニオンアニマルとしての動物のルーツをコンパニオンアニマル・アドバイザーが解説する。

【到達目標】

人と動物との関わり方の歴史を理解し、説明できる
日本人・西洋人と動物との関わり方や、その違いを説明できる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業内容と進め方及び自己紹介
2回目	人と動物との関わり(飼育動物と野生動物)
3回目	人と動物との関わり(家畜との関わり-定義)
4回目	人と動物との関わり(家畜との関わり-分類)
5回目	人と動物との関わり(家畜との関わり-分類)
6回目	日本人と動物との関わり(日本人と家畜の関わり)
7回目	日本人と動物との関わり(宗教の影響)
8回目	日本人と動物との関わり(宗教の影響)
9回目	日本人と動物との関わり(日本の動物観の歴史)
10回目	日本人と動物との関わり(明治以降の動物観)
11回目	西洋人と動物との関わり(「キリスト教」の影響)
12回目	西洋人と動物との関わり(西洋の動物虐待)
13回目	西洋人と動物との関わり(虐待から保護へ)
14回目	評価及び振り返り
15回目	動物の福祉(5つの自由)

準備学習
時間外学習

評価方法

期末評価(筆記): 80%
授業参加度: 20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

動物年表で見るアニマルヒストリー(滋慶出版)

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	コンパニオンドッグ (Companion Dog)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	寺田光徳
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日3時限

【授業の学習内容】

犬種の歴史、犬体、犬種の特徴などを習得すると共に、血統書の見方や登録方法も学ぶ。

※実務経験者

JKC九州ハンドラー委員会委員長 JKC福岡県連合会幹事長を務め、ドッグショーの審査、及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。

【到達目標】

最新の犬種図鑑を通してJKC(ジャパン・ケネル・クラブ)に登録してある犬種(歩様、毛色、犬種ごと欠点など)を全て熟知してもらう。

授業計画・内容

1回目	自己紹介 講義の進め方について
2回目	犬の歴史について
3回目	スタンダードについて
4回目	犬種のグループ分け ショードッグとは
5回目	犬体名称
6回目	骨格 噛合せ
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	骨格 噛合せについて
9回目	耳の形について
10回目	犬種のグループ解説 1グループ (シーブドッグ&キャトルドッグ)について
11回目	犬種のグループ解説 1グループ (シーブドッグ&キャトルドッグ)について
12回目	犬種のグループ解説 2グループ (ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種、 スイスマウンテンドッグ&スイスカトルドッグ、関連犬種)について
13回目	犬種のグループ解説 2グループ (ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種、 スイスマウンテンドッグ&スイスカトルドッグ、関連犬種)について
14回目	犬種のグループ解説 3グループ・4グループ (テリア・ダックスフンド)について
15回目	期末評価及び振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

中間評価:40点
期末評価:60点

【使用教科書・教材・参考書】 □

最新犬種図鑑

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	コンパニオンドッグ (Companion Dog)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	寺田光徳
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜日3時限

【授業の学習内容】

犬種の歴史、犬体、犬種の特徴などを習得すると共に、血統書の見方や登録方法も学ぶ。

※実務経験者

JKC九州ハンドラー委員会委員長 JKC福岡県連合会幹事長を務め、ドッグショーの審査、及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。

【到達目標】

最新の犬種図鑑を通してJKC(ジャパン・ケネル・クラブ)に登録してある犬種を全て熟知してもらう。

授業計画・内容

1回目	犬種のグループ解説 3グループ・4グループ (テリア・ダックスフンド)について
2回目	犬種のグループ解説 5グループ (スピッツ&プリミティブタイプ)について
3回目	犬種のグループ解説 5グループ (スピッツ&プリミティブタイプ)について
4回目	犬種のグループ解説 6グループ (セントハウンド&関連犬種)について
5回目	犬種のグループ解説 6グループ (セントハウンド&関連犬種)について
6回目	犬種のグループ解説 7グループ (ポインティングドッグ)について
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	犬種のグループ解説 7グループ (ポインティングドッグ)について
9回目	犬種のグループ解説 8グループ (レトリバー、フラッシングドッグ、ウォータードッグ)について
10回目	犬種のグループ解説 8グループ (レトリバー、フラッシングドッグ、ウォータードッグ)について
11回目	犬種のグループ解説 9グループ (コンパニオンドッグ・トイドッグ)について
12回目	犬種のグループ解説 9グループ (コンパニオンドッグ・トイドッグ)について
13回目	犬種のグループ解説 10グループ (サイトハウンド)について
14回目	犬種のグループ解説 10グループ (サイトハウンド)について
15回目	期末評価及び振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

中間評価:40点
期末評価:60点

【使用教科書・教材・参考書】 □

最新犬種図鑑

2019年度 シラバス

ペットリマール&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	コンパニオンキャット (Companion Cat)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	石本 美樹
専攻名	ペットリマール専攻、ペットリマール&動物看護師専攻、 ペットリマール&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 水曜日4時限
【授業の学習内容】							
<p>猫は犬と同じように人にとって身近な動物ではあるが、様々な点で猫特有の性質を持っている。この授業では、猫の歴史・習性を中心に学び、猫という動物について理解し、正しい知識を得ることを目標とする。</p> <p>※実務経験者 サンフラワーキャットクラブ理事 アビシニアン、ペルシャのブリーダーを経てペットシッターやキャットトレーナーなど猫と人の豊かな生活を支援する活動をおこなう</p>							
【到達目標】							
<p>ネコを扱う上で必要となる習性や行動を説明できる ネコの体の特徴を説明できる</p>							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己紹介 講義の進め方 猫のイメージって何？
2回目	猫の歴史・進化・分類
3回目	猫のルーツ ・古代エジプト～ ・リビアヤネコについて
4回目	神格化されたネコと暗黒時代 (エジプト～ヨーロッパ) 世界への拡大)
5回目	日本ネコのルーツ (縄文～平安時代～鎌倉時代)
6回目	日本ネコのルーツ (江戸時代～現代) 日本のキャットショーの歴史
7回目	ネコの習慣と行動 ※1Wの猫のイメージから発展させる 特徴(ツンデレ・なつきにくい・単独飼い主の存在)
8回目	ネコの狩り・遊びについて
9回目	仔育て (出産育仔中の行動)、排卵、発情
10回目	テリトリー・マーキングについて
11回目	体(平均的な体格と寿命)
12回目	歯の特徴 食べ方について
13回目	目・鼻・耳・被毛について
14回目	前期期末評価及び振り返り
15回目	運動性・筋肉・骨格について
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 85% 授業内評価 15% ※受講態度・あいさつ・積極的な発言を評価
【使用教科書・教材・参考書】 □	
猫の教科書	

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	食餌と栄養 (Dietetics for Animals)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	比嘉 恵子
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬猫の日々の健康の維持管理のため、適切な食餌管理が必要。 ・人と犬と猫の食性の違いを理解する。 <p>※実務経験者 動物看護師として動物病院で勤務後、京都・大阪・福岡などの専門学校で非常勤講師を勤める。動物看護師統一認定機構 認定動物看護師。関西動物看護教育研究会理事。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が世話する犬猫の食餌管理ができる。 ・飼い主に食餌の指導ができる。 							

授業計画・内容	
1回目	犬と猫の給餌法(総論):給餌法の基礎
2回目	犬と猫の給餌法(総論):ペットフード 手作り食と市販のフード
3回目	犬と猫の給餌法(総論):成長段階別の食餌と回数
4回目	犬と猫の給餌法(各論):犬と猫の必要栄養量 必要カロリー
5回目	犬と猫の給餌法(各論):命に関わる食品
6回目	犬と猫の給餌法(各論):栄養障害を起こす食品
7回目	犬と猫の給餌法(各論):消化の悪い食品 アレルギー
8回目	中間評価及び振り返り
9回目	仔犬と仔猫の給餌法:新生仔期
10回目	仔犬と仔猫の給餌法:離乳～成長期終了まで
11回目	維持期の給餌法:成犬・成猫期の栄養管理・健康管理
12回目	繁殖期の給餌法:妊娠中～授乳中の栄養管理・健康管理
13回目	高齢動物の給餌法:高齢変化と栄養管理・健康管理
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	復習
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・犬と猫の習性の違いを理解している事が必要。 ・簡単な調理ができる。
評価方法	<p>※栄養学の知識の評価は筆記テストで、飼い主への指導は課題で評価。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席、平常点(15%) ・筆記テスト:中間テスト(35%) ・課題の提出:期末テスト(50%)
<p>【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/></p>	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	ブリーディング (Dog Breeding)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	寺田 光徳
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護士専攻、 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】

犬の専門家として、基礎的な繁殖の知識が必要とされ、また就職先である業界では、自家繁殖に取り組んでいるショップも有る事から、必要とされる知識を学びます。座学を中心に、繁殖に関するメカニズムを理解できるように進めていきます。

※実務経験者

JKC九州ハンドラー委員会委員長。JKC福岡県連合会幹事長を務め、ドッグショーの審査及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。

【到達目標】

犬と猫の生殖器の仕組み、性周期、交配、出産の知識を習得します。

授業計画・内容

1回目	繁殖の知識が必要とされる理由
2回目	犬の飼育の現状と課題
3回目	犬等に関わる法規
4回目	適切な繁殖で有る事
5回目	経済問題と飼い主の責任
6回目	雄の生殖器
7回目	雌の生殖器
8回目	精の分化と性腺機能の調節
9回目	性周期・妊娠・分娩
10回目	繁殖の理由・交配と妊娠
11回目	出産・出産後の管理
12回目	分娩の異常
13回目	人工授精(①人工授精とは②必要性③応用④実際⑤今後)
14回目	確認テスト
15回目	振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

中間評価:40点
期末評価:60点

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ (Practice of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	酒井志保
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3・4・5時限

【授業の学習内容】

1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを実際にモデル犬を使って実践する授業です。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得
現在はピジョンフリーゼのブリーディングを行いサロンmarshmallowの代表

【到達目標】

120分でラムクリップ仕上げるCOMグルーミング検定A級合格、JKCトリマーライセンスC級合格

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	スタック位置・目線確認 (2人1頭)
2回目	ブローの徹底 (1人1頭)
3回目	バリカンの徹底 (1人1頭)
4回目	足回りの徹底 (1人1頭)
5回目	バリカンのきわ徹底 (1人1頭)
6回目	ウエスの徹底 (1人1頭)
7回目	アンダーラインの徹底 (1人1頭)
8回目	お尻の徹底 (1人1頭)
9回目	胸の徹底 (1人1頭)
10回目	アンギュレーションの徹底 (1人1頭)
11回目	アンギュレーションの徹底 (1人1頭)
12回目	肩の徹底 (1人1頭)
13回目	トップラインの徹底 (1人1頭)
14回目	前期評価 2時間カット仕上げ (1人1頭)
15回目	顔 頭の徹底

準備学習
時間外学習

評価方法

授業内評価
レポート提出10点
出席:10点
犬の扱い方:30点
道具の扱い方:30点
時間管理:20点

【使用教科書・教材・参考書】 □

JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ (Practice of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	酒井志保
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	前期
						曜日・時限	火・木曜日3・4・5時限

【授業の学習内容】

1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを実際にモデル犬を使って実践する授業です。

※実務経験者

JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得
現在はピジョンフリーゼのブリーディングを行いサロンmarshmallowの代表

【到達目標】

120分でラムクリップ仕上げるCOMグルーミング検定A級合格、JKCトリマーライセンスC級合格

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
2回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
3回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
4回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
5回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
6回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
7回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
8回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
9回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
10回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
11回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
12回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
13回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
14回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
15回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	授業内評価 レポート提出10点 出席:10点 犬の扱い方:30点 道具の扱い方:30点 時間管理:20点
------	---

【使用教科書・教材・参考書】 □

JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ (Practice of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	酒井志保
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	270 (18)	開講区分	後期
						曜日・時限	月・火・木曜日3・4・5時限
【授業の学習内容】							
1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを実際にモデル犬を使って実践する授業です。							
※実務経験者 JKC公認トリマーライセンス教士取得。愛玩動物飼養管理士資格取得 現在はピジョンフリーゼのブリーディングを行いサロンmarshmallowの代表							
【到達目標】							
120分でラムクリップ仕上げるCOMグルーミング検定A級合格、JKCトリマーライセンスC級合格							

授業計画・内容	
1回目	アウトラインスタック 立ち位置 目線
2回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
3回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
4回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
5回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
6回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
7回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
8回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
9回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
10回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
11回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
12回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
13回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
14回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
15回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業内評価 レポート提出10点 出席:10点 犬の扱い方:30点 道具の扱い方:30点 時間管理:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □ JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)	

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	犬の飼養管理 (Dog Nutrition and Feeding)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	西嶋 志保
専攻名	ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜日2時限

【授業の学習内容】

犬を飼育するにあたって、犬の社会化や安心して過ごせる環境への配慮、その他法令等、飼い主として果たすべき責任・配慮が必要とされる。この授業では、動物福祉施設及び動物病院での勤務、一般家庭犬のしつけの仕事を行う講師から、仕事での実務経験を基にした犬の飼育に必要な環境や対応を学ぶ。

※実務経験者

動物福祉の現場や動物介在活動に長年関わってきた講師が授業を行う。

【到達目標】

犬と人との関わりについて説明できる。

人間社会において犬と生活する為の飼い主の責務及びマナーを説明できる。

犬を家庭動物として飼育する上での基本的な生態に関して説明できる。

犬のライフステージにおける成長と必要なしつけに関して説明できる。

授業を通して様々な価値観に触れ、自分なりの飼養感を育て言葉にすることが出来る。

授業計画・内容

1回目	ガイダンス・自己紹介
2回目	人の犬の関わり方の歴史
3回目	HAB
4回目	動物愛護法(復習テスト)
5回目	動物愛護法
6回目	動物愛護法
7回目	動物愛護法
8回目	動物愛護法・ワーク
9回目	(復習テスト)、犬の本能と習性
10回目	本能と習性ワーク
11回目	コミュニケーション
12回目	コミュニケーション・ストレスサイン
13回目	復習テスト・ストレスサイン
14回目	前期評価及び振り返り
15回目	犬のライフステージ

準備学習
時間外学習

評価方法

期末評価(筆記):40%
小テスト、レポート評価:30%
授業参加度:30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

講師作成資料

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	犬の飼養管理 (Dog Nutrition and Feeding)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	西嶋 志保
専攻名	ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日2時限

【授業の学習内容】

犬を飼育するにあたって、犬の社会化や安心して過ごせる環境への配慮、その他法令等、飼い主として果たすべき責任・配慮が必要とされる。この授業では、動物福祉施設及び動物病院での勤務、一般家庭犬のしつけの仕事を行う講師から、仕事での実務経験を基にした犬の飼育に必要な環境や対応を学ぶ。

※実務経験者

動物福祉の現場や動物介在活動に長年関わってきた講師が授業を行う。

【到達目標】

犬と人との関わりについて説明できる。

人間社会において犬と生活する為の飼い主の責務及びマナーを説明できる。

犬を家庭動物として飼育する上での基本的な生態に関して説明できる。

犬のライフステージにおける成長と必要なしつけに関して説明できる。

授業を通して様々な価値観に触れ、自分なりの飼養感を育て言葉にすることが出来る。

授業計画・内容

1回目	犬のライフステージ
2回目	犬のライフステージ・社会化ワーク
3回目	犬のライフステージ
4回目	犬のライフステージ 復習テスト
5回目	犬のライフステージ 犬を迎える
6回目	犬を迎える・家庭犬のしつけ
7回目	家庭犬のしつけ・トレーニング
8回目	「犬と猫と人間と」
9回目	「犬と猫と人間と」
10回目	「犬と猫と人間と」 レポート
11回目	食事管理
12回目	危機管理
13回目	衛生管理
14回目	後期評価及び振り返り
15回目	犬を送る

準備学習
時間外学習

評価方法

期末評価(筆記):40%
小テスト、レポート評価:30%
授業参加度:30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

講師作成資料

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習 (Practice of Computer)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	千葉恵一・井口恵美里・芳村周一
専攻名	各専攻1年生	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月3・4・5 金2 木3 金3・4・5 火1・2 水3・4 上記のいずれか

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく
 前期は「Word」を使い「レポート」や「写真を貼った文章」が作れるように勉強していく。また、安全にインターネットを利用できるように「ITリテラシー」も勉強する
 前期・後期をまたぎ「PowerPoint」でスライド作成の勉強をする。
 基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※実務経験者

滋慶学園各校でコンピュータ授業講師(20年)

【到達目標】

教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる
 Wordを使ってレポート作成が出来るようになる
 安全にインターネットを利用できるようになる
 「We are ECO」のスライドが作れるようになる

授業計画・内容

1回目	USBメモリー紛失対策・USBメモリーの使い方等／ITリテラシー①
2回目	ITリテラシー②
3回目	Wordの基本操作(主に文章入力)
4回目	Wordの基本操作(主に文章編集)
5回目	Wordの基本操作(主に写真を貼り付けた文章の作成)
6回目	Wordの基本操作(主に図形を描画して色・線種を変更する)
7回目	Wordの基本操作(課題提出)
8回目	Word中級編(主に表を挿入し読みやすい表に整形する)
9回目	Word中級編(文章作成の役に立つ機能を勉強する)
10回目	Word中級編(図+文字で他人の関心を引く文章を作成する)
11回目	Wordの応用(計算式を入力してみる)
12回目	Wordの応用(レポート作成に便利な機能を勉強する)
13回目	Wordの応用(繰り返し利用する文章を簡単に作る方法を勉強する)
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	PowerPoint基礎(文字だけもの・画像を入れたもの・グラフ等を入れたもの)

準備学習
時間外学習

評価方法

授業内評価: 60%
 期末テスト: 40% ※提出作品(データで提出)

【使用教科書・教材・参考書】 □

COMPUTER BASIC Word
 COMPUTER BASIC Excel

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習 (Practice of Computer)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	千葉恵一・井口恵美里・芳村周一
専攻名	各専攻1年生	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月3・4・5 金2 木3 金3・4・5 火1・2 水3・4 上記のいずれか

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく
 後期は「Excel」を使い「計算式が入った表」や「読みやすいグラフの作り方」を勉強していく
 Excelへの苦手意識を少しでも減らす講義にする
 基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※実務経験者

滋慶学園各校でコンピュータ授業講師(20年)

【到達目標】

Excelへの苦手意識を少しでも減らす
 教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる
 Excelを使って計算式が入った表やグラフが作成できるようになる
 「We are ECO」のスライドを作成する

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	PowerPoint基礎(印刷、スライドマスター、切り替え効果、アニメーション)
2回目	PowerPoint課題提出
3回目	Excelの基礎①
4回目	Excelの基礎②
5回目	Excelの基礎③
6回目	Excelの基礎④
7回目	Excel中級編①
8回目	Excel中級編②
9回目	Excel中級編③
10回目	Excel中級編④
11回目	Excelの応用①
12回目	Excelの応用②
13回目	Excelの応用③
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	まとめ

準備学習
時間外学習

評価方法

授業内評価: 60%
 期末テスト: 40% ※提出作品 (PowerPoint作品提出・Excel作品提出)

【使用教科書・教材・参考書】 □

COMPUTER BASIC Word
 COMPUTER BASIC Excel

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	英会話 (English Conversation)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	ジェイ・バラリーノ or スティーブン・ムラシゲ
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日5時限

【授業の学習内容】

外国の方と接する際、恥ずかしがらずに挨拶や基本的な事を英語で話し、更に自分から話しかけることができるよう学習する。
ただ座って聞くだけではなく、アクティビティに参加しながら体感的に学んでいく。

※実務経験者

ジェイ・バラリーノ:2001年より日本にて英会話講師の経験あり。
スティーブン・ムラシゲ:2000年より日本にて教授をしている。小学、中学、高等学校等で英会話の教授経験あり。

【到達目標】

- ・日常生活の様々な場面で使える頻度の高い英語の文法を会話に当てはめて使えるようになること。
- ・授業でのコミュニケーションな会話の実践を通して、相手の会話をすぐに理解し、積極的な対応ができる技術を身につけること(自信を持って尚且つ丁寧に相手の話を聞き、返答ができるようになること)

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	L. 1	イントロダクション、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話をする。
2回目	L. 3	パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問をする。
3回目	L. 6	好き・嫌い等の好みについての会話をする。
4回目	L. 8	意見を尋ねる/意見を述べる。
5回目	L. 9 & 10	家族や性格について話す。
6回目	L. 11	人を褒める&褒められた際の会話表現 (衣服など)
7回目	L. 7, 13	時間について表現する。日々の習慣について話す。
8回目	L. 14	補足質問をする。
9回目	L. 19 & 20	道案内をする・場所を尋ねる。
10回目	L. 21 & 23	数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをする。
11回目	L. 28	料理の味や材料について&レストランでのオーダー方法を学ぶ。
12回目	L. 29 & 30	過去の出来事について話す&質問する。
13回目	L. 32	未来の予定について話す。
14回目	期末評価及び振り返り①	
15回目	振り返り②	

準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
---------------	-------------------

評価方法	学期末に筆記試験あり(定期試験100%)
------	----------------------

【使用教科書・教材・参考書】 □

Speak Now1

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	キャリアプランニング I (Carrier panning- I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	森藤史貴
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日4時限

【授業の学習内容】

卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、
社会人として生きる力を育む。社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。

※実務経験者

JKC公認ハンドラーライセンスC級取得。専門学校を卒業後、福岡市内のペットサロンに就職。

【到達目標】

良識のある社会人になる為に必要なコミュニケーションを学ぶ
各種のイベントを通してチームでの達成感を共有しチームでのコミュニケーションを学ぶ
スケジュールの管理をしてスムーズな授業の受講が出来るようにする。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	学校生活について クラス組織作り
2回目	学校生活について クラス組織作り
3回目	学園祭について
4回目	学園祭について 調べ学習
5回目	学園祭の準備
6回目	合同企業説明会とは
7回目	学園祭の準備
8回目	学園祭、合同企業説明会の振り返り
9回目	スポーツフェスタのについて
10回目	スポーツフェスタの準備
11回目	夏休みまで振り返り 夏休みの計画について
12回目	夏休みの振り返り スポーツフェスタの準備
13回目	期末試験について 追再試について
14回目	トリミング実習について振り返り
15回目	スポーツフェスタの振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

期末評価:70点
出席点:10点
提出物:20点

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	キャリアプランニング I (Carrier panning- I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	森藤史貴
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日4時限

【授業の学習内容】

卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。

※実務経験者

JKC公認ハンドラーライセンスC級取得。専門学校を卒業後、福岡市内のペットサロンに就職。

【到達目標】

良識のある社会人になる為に必要なコミュニケーションを学ぶ
各種のイベントを通してチームでの達成感を共有しチームでのコミュニケーションを学ぶ
スケジュールの管理をしてスムーズな授業の受講が出来るようにする。

授業計画・内容

1回目	前期の振り返り グループワーク
2回目	立志作文、履歴書の書き方/海外実学研修について
3回目	ドッグショーについて(ドッグショーの見方、ルールについて 海外実学研修について 調べ学習
4回目	海外実学研修について 注意事項 スケジュールの説明
5回目	合同企業説明会について 企業調べ
6回目	合同企業説明会について 振り返り
7回目	研修の心得について 海外実学研修について
8回目	キャリアセンター登録票について 冬休みの過ごし方について
9回目	調べ学習
10回目	キャリアセンター登録票について (活動計画)
11回目	キャリアセンター登録票の作成 (活動計画)
12回目	履歴書の書き方について
13回目	履歴書の書き方について
14回目	We are ECO卒業制作展について
15回目	1年間の振り返り 来年度の授業について

準備学習
時間外学習

評価方法

期末評価:70点
出席点:10点
提出物:20点

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	エコ教養Ⅱ (Human Study-Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	森藤史貴
専攻名	ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1時限
【授業の学習内容】							
卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。 社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。							
※実務経験者 JKC公認ハンドラーライセンスC級取得。専門学校を卒業後、福岡市内のペットサロンに就職。							
【到達目標】							
社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。チームコミュニケーションを通して、クラスの集団行動(活動)を通して、企業(施設)におけるチームで働くことを学び、力をつける。卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。							

授業計画・内容	
1回目	漢字小テスト アニマルコーディネーター試験について
2回目	漢字小テスト 進路調査アンケートについて
3回目	漢字小テスト 学園祭について
4回目	敬語小テスト 学園祭について 調べ学習
5回目	敬語小テスト 学園祭の準備
6回目	敬語小テスト 合同企業説明会について
7回目	漢字小テスト 学園祭の準備
8回目	漢字小テスト 学園祭、合同企業説明会の振り返り
9回目	一般教養小テスト スポーツフェスタのについて 卒業アルバムについて①
10回目	一般教養小テスト スポーツフェスタの準備 卒業アルバムについて②
11回目	一般教養小テスト 夏休みまで振り返り 夏休みの計画について 業界研修の注意事項
12回目	夏休みの振り返り 進路調査
13回目	期末試験について 追再試について
14回目	トリミング実習について振り返り
15回目	スポーツフェスタの振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末評価:70点 出席点:10点 提出物:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □	

2019年度 シラバス

ペットリマール&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	エコ教養Ⅱ (Human Study-Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	森藤史貴
専攻名	ペットリマール専攻、ペットリマール&動物看護師専攻 ペットリマール&ドッグトレーナー専攻、ペットリマール&メイク・ネイル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日1時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。 社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。</p> <p>※実務経験者 JKC公認ハンドラーライセンスC級取得。専門学校を卒業後、福岡市内のペットサロンに就職。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。チームコミュニケーションを通して、クラスの集団行動(活動)を通して、企業(施設)におけるチームで働くことを学び、力をつける。卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。</p>							

授業計画・内容	
1回目	後期に向けて 就職希望アンケート
2回目	職場の人間関係/社会人になるという事
3回目	働くという事/社会人になるという事
4回目	We are ECO 研究発表 準備開始
5回目	We are ECO / 研修を成功させるために
6回目	We are ECO / 社会人基礎力
7回目	We are ECO / 社会人基礎力
8回目	We are ECO / 社会人基礎力
9回目	社会人基礎力
10回目	社会人になる前に 社会人基礎力
11回目	JKCライセンス試験について傾向と対策
12回目	We are ECO 1年間の振り返り
13回目	We are ECO 研究発表 仕上げ
14回目	We are ECO 研究発表 仕上げ
15回目	2年を振り返って
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末評価:70点 出席点:10点 提出物:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □	

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	プレゼンテーション I (Presentation I)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	松本 孝生
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日4時限

【授業の学習内容】

専門能力(知識・技術)だけでは企業人(人)として足りない、現在企業が必要とするホスピタリティ、おもてなし能力を持った人材を養成。「自分の付加価値の高さで勝負する」一つひとつの行動や意識で差をつける

※実務経験者

人材育成、キャリアコンサルタントとして25年のキャリアを持つ。ホテルにて常任顧問として社員教育に従事している。

【到達目標】

自己理解、他者理解、第一印象の重要性、立ち居振る舞い

- 現状の自分を知る事: 自己紹介、他己紹介等の発表を通して自己の発表能力や人の考え方・見方を知る
- コミュニケーションの取り方: 人と接するとき的一步前に入る勇気を身に付ける
- 社会人としての一般常識
- 常用漢字の書き取り

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業内容の説明、出席返事は明るく元気にハキハキと、手を上げ笑顔で返事、一步前に入る勇気、人前で話すことができる人材になる。プレゼンテーション授業のルール。次回の自己紹介の仕方。
2回目	自己紹介 自己表現力
3回目	ジェスチャーゲーム
4回目	挨拶の意味、第一印象の作り方(挨拶・発声・発音・お辞儀)
5回目	一般常識①(マナー・エチケット)
6回目	他己紹介(人間観察力、傾聴心)
7回目	他己紹介(統率力、発表能力)
8回目	一般常識②(敬語の使い方、状況理解)
9回目	伝言ゲーム(集中力、記憶力)
10回目	9Wの授業で各自の気付きや発見
11回目	文書表現①(夏休みの報告)
12回目	発表表現(夏休みの報告)
13回目	文書表現②(挨拶文の書き方)
14回目	文書表現③(日本構文力) ●小論文コミュニケーションとは400文字
15回目	電話対応(対応力・即応力) 掛け方と受け方
準備学習 時間外学習	
評価方法	7W実施 ●グループ発表を通して姿勢、内容、能力を見る。 14W ●小論文コミュニケーションとは？(前期の感想を具体的に論文形式で書く) ※評価授業態度(姿勢)30点発表能力40点小論文能力30点

【使用教科書・教材・参考書】 □

講師作成資料

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	プレゼンテーション I (Presentation I)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	松本 孝生
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日4時限

【授業の学習内容】

就職先に最低限求められる「素直さ・謙虚さ・明るさ」と「マナー・エチケット・一般教養」などの常識を身に付け、当たり前のことを当たり前でできる学生を育てる。

※実務経験者

人材育成、キャリアコンサルタントとして25年のキャリアを持つ。ホテルにて常任顧問として社員教育に従事している。

- 研修先でのマナー、挨拶の仕方、文書表現、挨拶文の書き方が出来るようになる
- 仕事に対する考え方、言葉遣い、電話対応を身に付け対応力・即応力を向上させる
- 物事への好奇心をもち、興味を持つ気持ちを育てる
- 社会人としての常識を身に付ける
- 自己管理、改革を図り自分自身の向上へつなげる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	電話対応(対応力・即応力) 取次ぎ方
2回目	業界研修訪問マナー
3回目	前期13w～2wまでの授業レポート発表
4回目	常用漢字テスト
5回目	会社の言葉、仕事の言葉
6回目	自己表現力テスト
7回目	表現力テスト ※研修先での挨拶を実施2分間テスト
8回目	自己管理のポイント、自己改革
9回目	研修先での挨拶、会話
10回目	今年の抱負
11回目	言葉は文化
12回目	授業レポートの発表
13回目	仕事に求められるもの
14回目	プレゼンテーションを通して ●小論文プレゼンテーションで学んだことを書く
15回目	一年間の復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	・評価・授業態度 【授業受講姿勢】30点 ・発表能力40点 【研修先での挨拶を実施2分間テスト】 ・小論文能力30点 【筆記試験を実施小論文プレゼンテーションで学んだことを書く】

【使用教科書・教材・参考書】 □

講師作成資料

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	プレゼンテーションⅡ (PresentationⅡ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	松本 孝生
専攻名	<small>ペットトリマー専攻、ペットトリマー&動物看護師専攻、 ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻、ペットトリマー&メイク・ネイル専攻</small>	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限

就職先に最低限求められる「素直さ・謙虚さ・明るさ」と「マナー・エチケット・一般教養」などの常識を身に付け、当たり前のことを当たり前
にできる学生を育てる。

※実務経験者
人材育成、キャリアコンサルタントとして25年のキャリアを持つ。ホテルにて常任顧問として社員教育に従事している。

【到達目標】

- 自己表現力の達成度を実感する
- ライフポジションチェック・自分自身の再発見から自分から見た自分、相手から見た自分の評価の違いを考える
- 電話・面接の即応力を身に付け、相手の動きや話の変化にふさわしい対応ができる
- 面接マナーと質疑応答を通して、自信の考え方、目標、ビジョン等の表現力と対応力を学ぶ
- 社会人としての基本的行動、洞察力、発言力を身に付け相手の気持ちを見抜く力をつける

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業内容説明
2回目	自己PR 自己表現力の達成度確認と向上力
3回目	ライフポジションチェック 対人関係能力の高め方・自己発見
4回目	ライフポジションチェック 感想レポート、発表
5回目	電話対応の仕方
6回目	面接会場に行くマナーと心構え
7回目	1分プレゼンテーション 志望動機・自己PR等
8回目	面接練習① 集団面接
9回目	面接練習② 個人面接
10回目	SPI適性問題テスト
11回目	夏休みの報告 (文書表現)
12回目	夏休みの報告 (発表表現)
13回目	社会人の基礎知識① 厚生年金・社会保険・雇用保険・税金
14回目	社会人の基礎知識② 慶弔ルール、社交儀礼
15回目	接遇マナー 名刺交換・お茶の出し方・応接室、日本間、列車、車などの上座、下座について
準備学習 時間外学習	
評価方法	・評価・授業態度 【授業受講姿勢】30点 ・発表能力40点 【研修先での挨拶を実施2分間テスト】 ・小論文能力30点 【筆記試験を実施小論文プレゼンテーションで学んだことを書く】

【使用教科書・教材・参考書】 □

講師作成資料

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	コミュニケーションスキルアップ (Communication Skills)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※実務経験者

各種セミナー(話し方、傾聴、新入社員研修等)を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施する。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。
豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授業計画・内容

1回目	授業の進め方、オリエンテーション(自己紹介)、コミュニケーションの定義【P9～】
2回目	第一印象(コミュニケーションの定義、メラビアンの法則、笑顔の作り方)【P14～】 基本的対話スキル、会話のプロセス
3回目	基本的対話スキル「話し方」【P18～】
4回目	基本的対話スキル「聴き方」【P23～】
5回目	基本的対話スキル「グループでの会話」【P34～】
6回目	ローブレ:情報共有、整理・集約のゲーム①、中間試験対策
7回目	中間評価及び振り返り、自己表現スキル「挨拶」「自己表現」【P42～】
8回目	自己表現スキル「上手な頼み方、断り方」「自己主張」【P46～】
9回目	自己表現スキル「報連相」「会議・ミーティング」【P60～】
10回目	自己表現スキル「アンガーマネジメント」【P80～】
11回目	社会的スキル「基本的な社会的スキル」【P94～】
12回目	社会的スキル「挨拶」「敬語」「電話対応」【P96～】
13回目	前期まとめ
14回目	前期評価及び振り返り
15回目	後期の授業の進め方

準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験20点、期末試験80点=100点

【使用教科書・教材・参考書】 □

コミュニケーションスキルアップ検定(JESC)

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	コミュニケーションスキルアップ (Communication Skills)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日3時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※実務経験者

各種セミナー(話し方、傾聴、新入社員研修等)を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施する。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。
豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ロープレ:ビジネス電話検定、電話対応ゲーム
2回目	社会的スキル「接客」「訪問」【P105～】
3回目	社会的スキル「謝罪」【P112～】
4回目	ロープレ:接客、訪問、名刺交換
5回目	社会的スキル「ビジネス文書」「メール」「FAX」「SNS」【P116～】
6回目	中間まとめ
7回目	中間評価及び振り返り、サービスマインドとは
8回目	DVD鑑賞 マナーの本質「相手を思いやる心」
9回目	サービスマインド「サービスとは」「サービスの心得」【P126～】
10回目	サービスマインド「サービス基本要素」【P132～】
11回目	ロープレ:ビジネスシュミレーションゲーム(敬語・電話対応・訪問・接客)
12回目	謝罪(謝る、お詫びする) マナーを意識した行動
13回目	後期まとめ
14回目	後期末評価及び振り返り、ビジネスシュミレーションワーク
15回目	1年間の総復習、ロープレ

準備学習
時間外学習

中間試験20点、期末試験80点=100点

評価方法

【使用教科書・教材・参考書】 □

コミュニケーションスキルアップ検定(JESC)

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	動画制作 (Video Production)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	田中 守
専攻名	ペットリマー専攻、ペットリマー&動物看護師専攻、 ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1時限

【授業の学習内容】

SNS時代のWeb広告戦略概論
動画制作の座学と実践

※実務経験者

1991年より映像プロダクションを運営する。NHK関連の番組ディレクターとして従事、官公庁ビデオ制作にも携わる。現在は動画制作講師、動画制作コンサルタントとして活動する講師が授業を行う。

【到達目標】

Web広告の中でも動画を使った広告戦略を学び、実際に企画から撮影・編集を行って一人1作品を完成させる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	オリエンテーション 授業説明など
2回目	SNS時代の広告戦略概論 (Web広告とは?なぜ今、動画なのか?科学でも証明される動画の優位性について学ぶ)
3回目	動画制作の基礎(動画制作の手順を学ぶ。動画作品の良し悪しを決める企画と構成について学ぶ。観てもらえるもらえる動画とスルーされる動画の違い)
4回目	企画・構成ワーク(一人1テーマを決めて、企画・構成のワークを行う。自分のテーマに沿って、誰をターゲットに、何のために、何を、どのように見せるのか?を決める。)
5回目	撮影の3要素【カメラワーク】(カメラワークの3要素「構図、ポジション、アングル」の効果について学ぶ。視聴者に作者の意図を伝えるカメラワークを学ぶ。)
6回目	撮影の3要素【照明・音声】(照明の基本=3点照明「キーライト、フィルライト、バックライト」について学ぶ。音の大切さを知る。(音の性質とマイクの特性))
7回目	撮影実習 (実際に撮影をして、基本姿勢やカメラワークの練習、照明、マイクによる実践を学ぶ。)
8回目	動画編集に慣れよう (動画編集ソフトの基本操作を学ぶ。撮影した動画を使って編集の実践を行う。静止画像や動画ファイルの種類と用途、加工方法を学ぶ。)
9回目	音編集/MA~完成 (音編集ソフトを使って音声編集を行う。音声ファイルの種類と用途について学ぶ。現場音やBGM、効果音、ナレーションなどの音を加工編集して、映像と合成して動画を完成させる。)
10回目	動画の保存と公開 (画像や動画、音声のファイル管理について学ぶ。用途別の動画書き出し方と公開方法を学ぶ。著作権や肖像権について学ぶ。)
11回目	作品制作実践① (一人1作品を制作実践する。)
12回目	作品制作実践② (一人1作品を制作実践する。)
13回目	作品発表及び鑑賞会① (一人ずつ自分の作品を発表する。人の作品を鑑賞することによって自分の作品の良いところと欠点に気づくことも学習)
14回目	作品発表及び鑑賞会② (一人ずつ自分の作品を発表する。人の作品を鑑賞することによって自分の作品の良いところと欠点に気づくことも学習)
15回目	総評/まとめ (全ての作品を鑑賞しての意見交換と総評 ※スマホだけで作る動画制作を学ぶ)

準備学習
時間外学習

評価方法

授業内評価 20% ・期末試験(作品評価) 80%

【使用教科書・教材・参考書】 □

動画によるWeb広告戦略 (2019年度版)

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる
準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめる。
評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる
準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめる。
評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先の業務を把握することができる。
2. 業務の改善を必要とする課題を見つけ報告ができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (1)
2回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (2)
3回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (3)
4回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (4)
5回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (5)
6回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (6)
7回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (7)
8回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (8)
9回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (9)
10回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (10)
11回目	現場経験から業務の改善を必要とすることを見つける (1)
12回目	現場経験から業務の改善を必要とすることを見つける (2)
13回目	業務の改善を必要とすることを課題としてまとめる (1)
14回目	業務の改善を必要とすることを課題としてまとめる (2)
15回目	業務の改善を必要とすることを課題を報告する
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	現場経験を積み途中で、業務日報を毎日記入して提出し現場担当者に見てもらいながらディスカッションを重ねる。また、それらから業務改善の課題を絞り報告内容によって評価する(100%)。

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

【到達目標】

1. 業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアをまとめることができる。
2. 課題を解決するアイデアを実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (1)
2回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (2)
3回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (3)
4回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (4)
5回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (5)
6回目	課題を解決するアイデアを報告し、質疑応答を行う
7回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (1)
8回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (2)
9回目	ブラッシュアップしたアイデアを報告し、質疑応答を行う
10回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (1)
11回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (2)
12回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (3)
13回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (4)
14回目	検証結果をまとめる
15回目	検証結果の報告を行い、今回の課題改善の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	課題を解決するアイデアを実践することで得られた結果を検証し、その報告内容によって評価する(100%)。

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Practical Assignment from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授業計画・内容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。

評価方法

イベントの企画・立案力:30%
 プレゼンテーション力:30%
 実践力:40%
 上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

ペットリマー&ドッグトレーナー専攻

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Practical Assignment from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	ペットリマー&ドッグトレーナー専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。

評価方法

イベントの企画・立案力:30%
 プレゼンテーション力:30%
 実践力:40%
 上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】 □